

## 第4回 我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会 会議録（要旨）

開催日時 平成31年3月29日（金）14時30分～17時30分

開催場所 我孫子市役所議会棟第1委員会室

出席者 （委員）

瀧委員長、濱田副委員長、中込委員、出口委員、野本委員、青木委員、古谷委員、伊藤委員

（事務局）

環境経済部 増田部長 環境経済部クリーンセンター 伊藤課長

環境経済部新廃棄物処理施設建設準備室 佐野室長、竹内室長補佐、松澤主査

国際航業株式会社 森田、伊藤、齋藤、高杉

### 1 開会

- 2 議題
- （1）事業者選定スケジュールについて
  - （2）募集要項について
  - （3）非価格要素審査評価項目について
  - （4）その他

### 3 閉会

#### 議事要旨

---- 議題（1）事業者選定スケジュールについて 説明 ----

事務局：第5回目の委員会を10月31日の午後、第6回目の委員会を12月6日の終日で行いたいと考えています。

委員一同：了解しました。

委員：12月6日の本ヒアリングで、事業者が5社、6社と多い場合は、2日に分けて評価を行うのでしょうか。

事務局：ヒアリング自体は1社1時間から1時間30分くらいを想定していますので3社くらいであれば1日で可能と考えています。事業者が多い場合は調整させていただきます。

委員：概要ヒアリングは、事務局で実施するという理解でよろしいですか。

事務局：そのとおりです。

---- 議題（2）募集要項について 説明 ----

委員：入札説明書31頁で運営固定費は20年間で毎月均等とあり、入札説明書30頁の表の固定費のうち、維持管理費は運営期間にわたり、5年ごとに平準化した

金額を提案するとありますが、この関係性を教えていただけませんか。

- 事務局：維持管理費の表記は誤字となりますので、他の項目と合わせた表記にします。
- 委員：運営費の減額について、問題が発生した月の翌月を減額するとありますが、3月に問題が発生した場合、年度が変わった4月に減額が発生することになりますが、これは問題ないでしょうか。
- 事務局：事務局で調整します。
- 委員：会計年度で区切るのが自治体の基本ですが、過年度支出、過年度収入は決済の手続きさえ行えば問題ありませんので、可能性としてはあります。
- 委員：直接費だけではなく、間接費の根拠を示させたほうがよいのではないのでしょうか。
- 事務局：一般管理費は、その他経費に含めて計上してもらうこととしています。
- 委員：確認ですが、定量化限度額は今回設けない理解でよろしいでしょうか。
- 事務局：事務局案は、定量化限度額は設けず、低入札調査価格を設ける予定です。
- 委員：定量化限度額、低入札調査価格を設ける、設けないは文書に記述すべきと考えます。
- 事務局：事業者には誤解を与えぬよう、市の考え方を明記します。
- 委員：運営費の物価変動による改定について、ある一定基準の変動割合の場合は改定しないケースがありますが、今回の事業では、毎年必ず改定するという理解でよろしいでしょうか。
- 事務局：そのとおりです。
- 委員：普通の工事や委託では、国土交通省のインフレスライド条項に基づき変動幅が小さい場合、設計変更しない場合がありますが、市の他の事業と違うことはないですか。本事業が特別であることの理由があって説明できればよいと思います。
- 事務局：整備費の改定については、我孫子市の約款を基に契約書を作成しています。
- 委員：発電の2,000kWとは、発電機の出力か、逆潮流の最大の電力量のどちらでしょうか。
- 事務局：発電機の出力は2,000kWで、東京電力パワーグリッドに逆潮流できる電力量が1,400kWです。
- 委員：提案者は、東京電力パワーグリッドに聞きに行くよう記載すべきと考えます。1,400kWという制限が付くのであれば、売電量は事業者がどれだけ頑張れるか評価することになります。
- 委員：電力使用量と発電量の差が売電量となり、売電収入が市の収入になるとありますが、一方で発電すると人件費とかもかかり、運営としてメリットが無ければ発電する必要が無いという考えもあります。その辺のさじ加減が懸念されます。
- 委員：使用電気を差し引いてこれだけの売電量があると提案し、現実プラントが予想より多くの電力を使用し、売電量が少なくなった場合、モニタリングでの減額の対象となるという理解でよろしいでしょうか。焼却灰も同じで、我孫子市が処理するので、事業者としてもいくら出てもかまわない。ただ提案では少ない

と評価されるので、提案内容を担保してもらわなければならない。

委員：ごみが少なくて発電できない場合もあります。少なければ少ないほど発電量は落ちてしまいます。

委員：事業者は性能曲線を持っています。このごみ質でこれだけ売電しますということを保証してもらいます。状況が変わったら変わったりの評価基準をメーカーに作らせて、それが認められれば認め、お互いに納得したもので発電量が少なくなった場合は、減額となる。地元発注に関しても同様な考え方でペナルティを設ける場合もあります。

委員：入札説明書 35 頁の減額措置が必要となる状態のレベル C の話になると考えます。市がこの考えでやるということであれば、レベル C のところの文面に盛り込まれているかどうか確認する必要があります。

事務局：特定事業契約の契約内容は、提案内容そのものも契約内容のひとつと定義させていただきます。提案で地元にくら出します、発電量がこれくらいになります等、その内容が不適切な場合は当然、協議の上、減額の対象となります。

委員：内容は良いと思いますが、減額となると民間会社も顧問弁護士がいるわけで、契約書に書いてないとなるとそこが問題です。ここで書いてあれば減額の対象となると言えるのかどうか。

委員：電気と灰のことは入札説明書に特記しても良いと考えます。建設の地元のところは自治体の判断になりますが。

事務局：添付資料の 2 と 3 については、この内容をそのまま契約書として運営契約に入れますので。売電量に関するペナルティについては記載内容を検討します。

委員：土壌汚染対策工事を市の事業で実施して、事業者に土地を引渡す際には汚染が残っていないという理解でよろしいでしょうか。

事務局：そのとおりです。

委員：開札は、ヒアリングとは別日で行うという理解でよろしいでしょうか。

事務局：ヒアリングと同日に行う予定です。当然、非価格要素審査点が出てから開札を行い、価格点を決定します。

委員：技術点の点数化の方法について、価格点と同様の考えで、「獲得点数／最高の獲得点数×50 点」としてはどうでしょうか。

事務局：要求水準書にて必要な業務内容は網羅している。近年の建設費用の高騰が懸念されるという観点から、要求水準を上回る技術提案よりも価格を重要視したいという市の考えがありますので、本事業においては事務局案を採用できればと考えています。

#### ---- 議題（3）非価格要素審査評価項目について 説明 ----

委員：基本的には、発電した電力でプラントを運転するという理解でよろしいでしょうか。

事務局：そのとおりです。

委員：発電機が 2,000kW かつ逆潮流が 1,400kW までという事ですが、この場合、一番売電を多くするためには、定格量の 1、2 炉運転を繰り返すよりも 2 炉の減量運転を行ったほうが結果的に発電量が増えて売電量が少し増えると考えます。恐らくこれが運転計画に反映されてきますので、前提条件として、発電機出力、逆潮流量の制限は記述すべきと考えます。配点ですが、本施設に地元自治体として求める使命というのがあると考えますので、地元地域への貢献の配点は、全体バランスから見ると低いと考えます。長期稼動について、例えば 30 年を 35 年使うから特別なことをやるという提案がでてくるか考えるのは難しいため、配点が高すぎると考えます。事業実施体制は、保険、出資金、第三者モニタリング等、事業者によって提案はそれほど変わらないと考えます。それよりも、例えば安全運転、事故の安全対策や事後対策や工事計画は、トラックスケールの位置が変わらない、既存の施設を稼動させながら、既存施設への搬入車両があるなかで工事を行うことになりまますので、工事車両の安全対策等、工事計画の配点を大きくしても良いと考えます。公害防止は、特に厳しい基準ではないので、通常の乾式処理で十分対応できる数値だと思います。発電については、売電量を増やすために所内電力を削減する、発電効率を上げるのは難しいが、エネルギー回収率 16.5%は確保しなければならないというポイントがあります。ざっと計算すると基準ごみ定格運転で発電出力 2,000kW で 16.5%達成はぎりぎりです。技術評価で色々考えた提案を受けたいところですが、例えばボイラを高温高圧にすると、エネルギー回収は増え、CO<sub>2</sub> を減らせるのですが、発電が出来ないので、お金をかけても意味は無いかもしれません。このため、2,000kW の発電機を炉の運転計画により、どのように効率的に使うかという観点があります。発電については、温室効果ガス排出量低減対策の評価項目に統合してもいいのですが、提出する様式を分けるべきと考えます。

事務局：入札公告までに配点、様式は精査します。

委員：3. 市民に信頼される開かれた施設の配点が少なすぎるため、ここを手厚くするべきと考えます。1. 安定稼動が可能な施設の配点 55 点は施設として当たり前なところなのに高すぎるので、ここに点をつけても差が出ないと考えます。

委員：3 は少なくとも 20 点くらい、4 も 20 点くらい欲しいですね。あとは事務局にお任せします。

委員：3 を厚くするという点に関して、この施設をどう使うのかというのを考えて、配点を増やしていただきたいと思います。展示をすると、衣替えにより展示物はどんどん変わる。それも事業者が実施するので、そういう部分を含めた提案内容を求めなければなりません。だからといって高いものを入れられても困るため、安くて変更が楽で、というアイデアを頂きたいと思います。

委員：例えば応札する事業者の間で差が出そうな部分、出ない部分と、施設の制御方法や省力化は差が出ると考えます。提案の事業者によって、差がつきそうな観点で、技術的な観点を見たほうが良いと考えます。

委員：省力化については、価格で反映されます。公害防止基準について、窒素酸化物

が 150ppm 以下となるよう、無触媒脱硝、排ガス再循環、両方併用してもいいと  
しています。事業者によっては、無触媒脱硝を止めて、排ガス再循環だけで  
出来きますという場合もあるので、何が優れているか、何点にするかを判断す  
るのは難しいですが、提案の差は出てくると思います。売電量は差が出るかも  
しれません。

委 員 : 温室効果ガス排出量低減対策は 6 点になっているので、もう少し配点を上げて  
も良いかもしれません。

委 員 : イニシャルもランニングも安いものが欲しい、それが見える評価項目、設問に  
していただきたい。

事務局 : 今頂いたご意見の確認です。配点については、項目 No.1,2,3,5,8,12 の配点を  
落とします。点数を上げるものについては、項目 No.11,14,16,17,18 で検討さ  
せていただきます。事務局で公告までに修正し、修正稿をお送りさせていただきます。

#### ---- 議題 (4) その他 説明----

委 員 : 昔ですが、私の係わっていたときは、5,000 万円/トン程度でした。予定価格を  
下げようとしても精査しようがないですね。

委 員 : 平均価格を採用している理由は何でしょうか、最低価格をとらなかった理由は  
考えておくべきと考えます。また、運営費の 112 億は妥当と考えます。

委 員 : プラントよりも建物が半額以上かかるとなると、建物は簡素で良いとかそうい  
う話があっても良いとも考えます。

委 員 : 臭気が多い部分やプラントの基礎を置く部分は、RC 造にするとか建物のグレ  
ードは下げようがない部分も有ります。

委 員 : 電気と水道等の付帯工事により、値段が上がっているわけではないのですか。

事務局 : 電気と水道、地下調整槽の整備工事費は、メーカー見積の範囲外であり、市が積  
算し、プラント見積に追加しました。

委 員 : 薬品代は規模によって変わりますが、一番高い人件費は規模によってそんなに  
変わらないと思います。1 班 3 人で運転するというのが、一般常識化していま  
す。

委 員 : 本社の AI に直結し、集中管理してる事例もありますよね。

委 員 : 感覚的には予定価格はもう少し下げても良いと考えます。

委 員 : 最低見積業者でいいという考えもあります。

委 員 : 入札の際は、コンマ 8 掛けくらいで入札されますよね。8 掛けよりも低かった  
ら低入札というのがありますが。

事務局 : 見積りを取ったときに 10 社くらいあれば、最高額と最低額を切って平均とい  
う考えはあるのですが、今回は見積り提出者が少なく、最高と最低で数十億違  
うということもありまして、今回平均値ということにしました。

委 員 : 4 社応募があり、価格の 9 割で落札した事例もあり、2 社しかなかったところ  
で価格の 8 割で落札した事例もありますので、蓋を開けてみないと分からない

というところはありません。

委員長 : その他、委員の皆様から何かありますか。

委員一同 : ありません。

委員長 : 以上を持ちまして、第4回我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会を閉会します。

以上